

## 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



### 自治体の概要



ジャージー牛の放牧



地元産業を学ぶ中学生

■人口: 44,539人

(令和2年4月1日現在住民基本台帳)

■産業

- ・西日本有数の木材集散地域
- ・日本最大のジャージー牛の酪農地帯

### 今後のビジョン・計画

2040年の人口の安定と均衡のとれた年齢構成(34,000人)を実現し、「中山間地域の持続的発展モデル」を目指す

(市政の方向)

真庭の地域資源を生かした今の生活  
若い世代による新しい魅力づくり  
つながり(連携・循環)を生かした地域経営

多彩な真庭の豊かな生活  
「真庭ライフスタイル」

## SDGsに関する特徴的な取組

ごみを再び資源に ～身近なところから考え実践する～



制作者：淀川テクニック(柴田英昭氏・真庭市出身)

### 真庭のシシ



ごみの減量化・再資源化を行う持続可能なごみ処理体制づくりのシンボルとして、イノシシをモチーフとしたモニュメントを作成  
市民を中心に大人気!

◎東京を始め、県外にも出張実績多数

### 生ごみ等の資源化



燃えるごみの多くを占める生ごみをはじめし尿・浄化槽汚泥などメタン発酵させて肥料の原料として再生

燃えるごみを減らすことで、ごみ処理コストを大きく削減し、持続可能なまちづくりに大きく貢献

副産物として作った肥料(バイオ液肥)は市民に無料配布しており、大規模農家から家庭菜園まで多くの市民に大変好評に利用いただいているところ

今まで「ごみ」だったものを「資源」として活かす循環のサイクル

